

感謝

平成20年3月30日(日)

交流施設オープンニングイベント

原始人会の活動も今年で8年目になります。やっと念願の「拠点」が完成しました。よくここまで来れたものだと思います。「もう、あかん・・・」という時に、いつも救世主が現れ持ち堪えてくれました。これまで原始人会に関わって頂きました多くの皆様に、感謝、感謝の気持ちでいっぱいです。合掌

万願寺の谷のジビエ 第2回 鹿しゃぶ大会

ジビエとは、狩猟による鳥獣肉のことをいいます。鹿肉は高蛋白、低カロリーで鉄分が多く、メタボが気になる方、若い女性に注目の健康食材です。

日時 平成20年3月30日(日)

10時受付開始～3時半頃終了

場所 加西市上万願寺町120

「都市田舎交流施設」

料金 お一人様 700円

先着 500名様(要予約)

※鍋・コンロ・ボンベセット1000円(持ち込み可)

受付開始 3月16日(日) 午前9時より

お申込み・0790-44-0150

お問合せ・info@genshijinkai.com



秋休

ライブ



プロフィール・大阪を拠点にストリートライブを始め、今ではライブ活動も全国展開へ。04'10月、初の海外遠征ライブを「北京」にて成功。07'4月、2nd MAXSINGLE『兩宿り/ラブコール』をリリース、発売から6ヶ月で手売り枚数2000枚を売り上げ、同年11月、4度目の単独ライブを大阪梅田am HALLで行い初のチケットSOLD OUTを叩き出した！今後も確実に成長していくこの二人には大注目だ！

ライブ時間 午前11時
午後1時

催し物

尺八演奏 野口虚琴さん



播州あばれ太鼓
の音さん



琴演奏 近藤社中
の音さん



<http://genshijinkai.com>

〒675-2451 加西市上万願寺町120 原始人会

お問合せ info@genshijinkai.com 0790(44)0150

劇「女切ろまん」

都市田舎交流施設 オープニング記念イベント

万願寺町東光寺には、800年の歴史を持つ農耕儀礼「田遊び」と悪魔払い「鬼会」(毎年1月3日夜開催)の儀式が残っており、平成18年3月に文化庁より「国の重要無形民俗文化財」の指定を受けました。

同寺の東向かいには、この文化財等を背景に繰り広げられた切なくも悲しい恋物語をほそぼそと今に伝えている「女切峠」(おなきりとうげ)があります。この今にも消えてしまいそうなお話を後世に伝えていきたいとの思いから、原始人会が「文化財指定記念」し、このお話を一冊の本にしました。そして、今回 都市田舎交流施設のオープニングを記念して更に劇化しました。



日時 平成20年3月30日(日)

場所 加西市上万願寺町120

「都市田舎交流施設」

午後2時開演 入場無料

お問合せ 0790(44)0150

info@genshijinkai.com



＜女切峠の頂上付近にある「比翼塚」＞

村人たちは二人の死を悼み、峠を「女切峠」というようになりました。そしてその道の北側には市兵衛を、南側にはてるを祀り小さな墓を建てました。それが「比翼塚」として残っています。現在は道幅拡張に伴い傷みも激しかった為、新しくして二つの塚が並べて祀られています。今では近くのお年寄りや民話を尋ねる人、「縁結び」にと訪れる若いカップルが、そっと手を合わせて行かれます。

民話「女切ろまん」劇化に思う

ほんの僅かで限られた人達が往来する地名としての女切峠が「どぶろく女切峠」として多くの食卓に、宴席の机上にのぼるようになった。しかし、その名前が持つ本当の意味は同様の広がりを見せなかった。

そんなとき、民話「女切ろまん」という 小さな小さな命が芽生え、それが地域の若者達の目に留まり 慈しむようになり 立派に育ててみたいとなった。IT社会、競争社会の真っ只中を生活する(作)若者達には仕事や金儲オンリーが、また、農山村の疲弊が当たり前前に報じられる殺伐とした時代のなかで・・・この若者達の「心の遷移と行動が」この地域のコミュニティを再生し、過疎・高齢化の流れに悼さし、万願寺地区を救うことに必ずなっていくだろうと・・・

お問い合わせ、※ 駐車場に限りがありますのでシャトルバスのご利用をお願いします

※ シャトルバスは、北条町駅・市役所・高速バス停をピストン運行します